

## 第3学年 国語（書写）

### 第3学年の学習到達目標

- (1) 文字の組み立て方に注意して、文字の形を整えて書くことができる。
- (2) 文字の大きさや配列に注意して書くことができる。
- (3) 毛筆を使用して、点画の筆使いや文字の組み立て方に注意しながら文字の形を整えて書くことができる。

### 第3学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	①毛筆のしせい ・毛筆で書こう	●毛筆の姿勢・筆の持ち方、用具の置き方・扱い方を理解する。 ●毛筆の穂先の向きや毛筆の特性について理解する。	○毛筆の姿勢・筆の持ち方、用具の置き方・扱い方 ○毛筆の運筆 ○毛筆の穂先の向きや毛筆の特性
	②「横画」〈一・二〉	●「横画」の始筆・送筆・終筆の筆使いを理解する。 ●「横画」の穂先の通り道を理解する。 ●筆使いに注意して、「一二」を書く。 ●硬筆で、「横画」の方向に注意して書く。	○始筆・送筆・終筆・「横画」の筆使い ○筆使い…「横画」（「止め」） ○字形の整え方…画の方向（「横画」）
	③「縦画」と「点」〈下〉	●「縦画」の始筆・送筆・終筆の筆使いを理解する。 ●「縦画」の穂先の通り道を理解する。 ●「点」の筆使いを理解する。 ●既習事項にも注意して、「下」を整えて書く。 ●硬筆で、「縦画」の方向に注意して書く。	○始筆・送筆・終筆・「縦画」の筆使い ○筆使い…「縦画」（「止め」）「点」 ○字形の整え方…画の方向（「縦画」）
	④「折れ」〈日〉	●「折れ」の筆使いを理解する。 ●既習事項にも注意して、「日」を整えて書く。 ●硬筆で、「折れ」の方向に注意して書く。	○毛筆の姿勢・筆の持ち方 ○筆使い…「折れ」 ○字形の整え方…画の方向（「折れ」）
	☆知ってもらおう、 自分のこと	●既習事項を生かして丁寧に書く。	○既習事項を生かして、原稿用紙に自己紹介文を丁寧に書くこと
	⑤「はらい」〈大〉	●左右の「払い」の筆使いを理解する。 ●既習事項にも注意して、「大」を整えて書く。 ●硬筆で、「払い」の方向に注意して書く。	○左右の「払い」の筆使い ○筆使い…「左払い」「右払い」 ○字形の整え方…画の方向（「左払い」）
後期	⑥「はね」〈小〉	●「はね」の筆使いを理解する。 ●既習事項にも注意して、「小」を整えて書く。 ●硬筆で、「はね」の方向に注意して書く。	○筆使い…「はね」 ○字形の整え方…画の方向（「はね」）
	☆横書き	●横書きには2通りの文字のそろえ方があることを理解し、横の行を整えて書く。 ●算用数字の書き方を確認する。	○横書きには二通りの文字のそろえ方があること ○配列…横書き
	⑦「曲がり」 （ひらがな） 〈つり〉	●平仮名の「曲がり」の筆使いを理解する。 ●平仮名の「曲がり」のを理解する。 ●筆使いに注意して、毛筆で「つり」を書 ●（進度に応じて）「つり」を整えて書くために必要な既習事項を確認する。 ●毛筆の学習を生かして、平仮名の「曲がり」について硬筆で学習する。	○「曲がり」の筆使い。 ○筆使い…穂先の通り道 ○字形の整え方…画の方向（「曲がり」）
	☆書きぞめをしよう 〈正月〉	●既習事項を生かして書き初めをする。 ●小筆の持ち方や使い方を理解し、名前を丁寧に書く。	○小筆の持ち方や使い方、書き初め用紙に書く場合の姿勢

⑧まとめ (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3年で学習したことをまとめる。</li> <li>●自分の目当てを持って学習する。</li> <li>●自分の目当てに対して、自己評価をする。</li> <li>●相互評価をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年で学習したことをまとめる</li> <li>○筆使い…「横画」「縦画」「点」「折れ」「左払い」「右払い」「はね」</li> <li>○字形の整え方…画の方向、筆順と字形、組み立て方、文字の中心</li> <li>○字配り・配列…行の中心、横書き</li> <li>○自己・相互評価</li> </ul>
☆調べたことをつたえよう	●既習事項を生かして丁寧に書く。	○調べ学習や観察記録のカードを、既習事項を生かして丁寧に書くこと

### 評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>学習を進める中や学習後に評価します。</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <p>文字の大きさ、配列、毛筆では、点画の接し方、交わり方、方向、文字の組み立て方などを理解して文字を正しく書く。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>① 自己評価や相互評価により自分のよさを生かしたり、互いのよさを認め合ったりしながら学習を深めることができるように工夫します。</p> <p>○作品ファイルにより、学習のはじめに書いたものと学習後に書いたものを比べ、学習の成果を確認し学ぶ喜びを味わう。</p> <p>○作品を掲示することにより、自分や友達の仕事のよさを認め合う。</p> <p>② 「よい子のあゆみ」では、毎時間や学期を通じての取り組みをもとに、国語科の「主な観点と達成の様子」の中に到達度で示します。</p>
---	---

### 特色ある学習方法

<p>子どもたちが主体的に学習を進められるよう、意欲を持たせるための工夫をします。</p> <p>①自分の課題を見つけ取り組む。(個別指導)</p> <p>②指導法を工夫する。(水書板の活用)</p> <p>③評価を工夫する。(自己評価・相互評価など)</p> <p>④日常に生きて働く書写力を育成するための学習にします。</p>
---

### 使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書 「新しい書写3年」(東京書籍)</li> <li>○ 書写ノート</li> <li>○ 鉛筆 (B)、筆ペン、習字道具</li> </ul>
---

### 留意事項

<p>(1) 書くことをおっくうがらない子に</p> <p>相手がいて、読んでもらえたり見てもらえたりすることは、正しく整えて文字を書くことを生活に生かす絶好の機会です。おじいちゃん、おばあちゃん、いとこ…。誕生祝いのカード、年賀状…。電話や電子メール全盛の時代ですが、だからこそ意識して書くことを大事にしたいものです。また、持ち帰った作品(1番よく書けた作品は教室に掲示)を見られましたら、気を付けたことやうまくいったことなどを聞いてあげてください。また、よい点をほめてあげてください。</p> <p>(2) 準備がきちんとできる子に</p> <p>第3学年から毛筆書写の学習が始まります。学校では、必要な用具の紹介をし、購入希望もとりませんが、各ご家庭に用具がある場合はそれをお使いください。</p> <p>【硯、墨(墨液)、筆、下敷き、文鎮】この他に、新聞紙も用意させてください。書きあがった作品の処理、後片付けなどに使います。</p> <p>(3) 用具を大事にする子に</p> <p>用具の取り扱いや手入れの仕方については学校で指導しますが、ご家庭のみなさんからも声かけをお願いします。用具を大切に扱うことも大切な学習です。入門期のこの時期に、しっかりと習慣付けましょう。</p> <p>(4) 用具の手入れ法</p> <p>硯：使い終わったら水でよく洗います。</p> <p>筆：使い終わったらしっかり水洗いをし、紙で水気をとります。穂先の扱いには注意してください。</p> <p>下敷き：しわにならないように気をつけましょう。</p>
--